

北区を知る—天神橋筋商店街—

天神橋筋商店街は、天神橋1丁目から7丁目までまっすぐ南北に連なる商店街です。全長約2.6キロという全国有数の長さを誇り、「日本一長い商店街」として紹介されることもよくあります。平成18(2006)年に天満天神繁昌亭がオープンしたこともあり、大勢の客でにぎわっています。商店街関係者みずから本を数多く発行し、情報発信しているのも大きな特徴かもしれません。天暦年間(950年頃)に天満宮の門前町として開けたのが始まりといわれています。

『商店街の本-天神橋筋に生きる街あきんど-』天神橋筋商店連合会編 天神橋筋商店連合会 天神天満町街トラスト 2006 *ID 0011186870

『天神さんの商店街』土居年樹著 東方出版 2002 *ID 0010336582

『社会といきる商店街-茶碗やおやじの一人言-』土居年樹著 東方出版 2011 *ID 0012211979

『天神橋筋いまむかし』遠藤章弘著 天五会館 1993 *ID 0070022169

『天神橋筋繁昌商店街』天神橋三丁目商店街振興組合編 東方出版 2010 *ID 0012002884

『パノラマウォーク大阪の商店街 上』大阪市商業振興企画・編 大阪市経済局 [1998] *ID 0000684575 (p16~21)

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「北区」『天神橋筋商店街についての本はありますか』

この調べかたガイドでは、北区の歴史をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

北図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド:各区版

北区の調べかた

北区の史跡・名勝・建築—大阪天満宮—

北区の人物・伝説—大塩平八郎—

北区の民俗・文化—天神祭—

北区を知る—天神橋筋商店街—



北区の花 《バラ》

バラは「愛情」「希望」「清新」などの花言葉にも象徴されるように、未来への夢と希望をかきたててくれる花として親しまれています。

とくに、赤いバラと白いバラを束ねたものが「結合」の意を表すことから、旧北区と淀川区の合区により1989年に誕生した新しい北区が、未来に向かってより一層結束することを願い、赤と白を重ね合わせたこのマークにシンボライズしました。

大阪市立北図書館

〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2

TEL 06-6375-0410

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

北区の調べかた

Ver.2 2019.02改訂

北区の史跡・名勝・建築—大阪天満宮—

大阪天満宮は北区天神橋2丁目に鎮座する、大阪を代表する神社の1つです。創建は平安時代中期の天暦3(949)年、主祭神は菅原道真公です。

『大阪天満宮史の研究』大阪天満宮史料室編 思文閣出版 1991 *ID 0000199504

『大阪天満宮史の研究 第2集』大阪天満宮史料室編 思文閣出版 1993 *ID 0000334729

『大阪春秋 第49号 おおさかの天満宮と天神信仰』1987 *ID 0070031274

『大阪史蹟辞典』三善貞司編 清文堂出版 1986 *ID 0000214926

北区の人物・伝説—大塩平八郎—

大塩平八郎(1793年～1837年)は、江戸時代後期の大坂町奉行所の元与力で、陽明学者としても知られています。飢饉にあえぐ庶民に対して町奉行所が有効な救済策を打たないことに怒り、天保8(1837)年、いわゆる「大塩の乱」を起こします。しかし1日で鎮圧され、その後、平八郎は息子の格之助ともども爆薬に火をつけて自殺しました。成正寺(北区末広町)に父子の墓があります。また、造幣局(北区天満1丁目)の敷地には平八郎が自宅で開いた私塾「洗心洞」跡の碑があります。「大塩の乱」では、当時の大坂市中(大坂三郷)の5分の1が焼失し、大阪天満宮の本殿も全焼しました。にもかかわらず、大塩平八郎を英雄視する人は多く、現在も小説やテレビドラマにしばしば登場します。

『大塩平八郎 改訂版』岡本良一著 創元社 1975 *ID 0070026225

『大塩平八郎 2版』幸田成友著 創元社 1943 *ID 0080218517

『大塩平八郎』宮城公子著 朝日新聞社 1977 *ID 0070028936

『大塩平八郎建議書』仲田正之編校訂 文献出版 1990 *ID 0000218919

『大塩平八郎と民衆』大阪人権歴史資料館編集 大阪人権歴史資料館 1993 *ID 0000315127

『大塩の乱のあとをたどる-乱160年・大塩平八郎終焉の地碑建設記念-』大塩の乱関係資料を読む会100回記念事業実行委員会編集 大塩事件研究会 1997

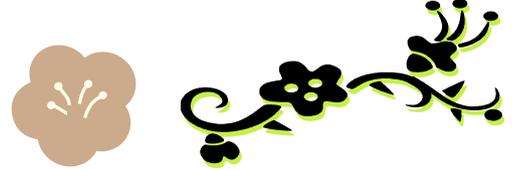
*ID 0000715201

大阪関係の人物について手軽に調べられる事典類として、たとえば次の資料があります。

『大阪人物辞典』三善貞司編 清文堂出版 2000

*ID 0000832804

大塩平八郎の項目はp191以下ほぼ3ページ分を費やして、かなり詳細に書かれています。また、巻末の人名索引で大塩平八郎を引くと、他の人物の項目にも大塩平八郎に関する記述があることがわかります。人名事典は、本人の項目だけではなく、関連人物の項目も調べれば、さらに活用できます。



北区の民俗・文化—天神祭—

天神祭は、大阪天満宮の夏の祭礼で、日本三大祭のひとつにも数えられます。最大の特徴は、船渡御と呼ばれる水上パレードです。また近年では、天神橋筋商店街をねり歩くギャルみこしも有名です。天神祭をおこなうにあたっては、地域や同業者仲間をつくる講社と呼ばれる組織が、各講社ごとに役割を分担して奉仕しています。

『天神祭-火と水の都市祭礼-』大阪天満宮文化研究所編 思文閣出版 2001 *ID 0010210881

『天神祭-なにわの響き-』井野辺潔編著 創元社 1994 *ID 0000403773

『天神祭-水の都・千年の祭-』米山俊直編著 東方出版 1994 *ID 0000404473

『天満宮御神事御迎船人形図会』高島幸次編著 東方出版 1996 *ID 0000561320

『大阪天満宮夏大祭天神祭と秋大祭流鏝馬式史料 近代1』近江晴子編集 大阪天満宮 2010 *ID 0012132995

『天神祭と女性』堀裕〔ほか〕編集 大阪樟蔭女子大学学芸学部日本文化史学科 大阪樟蔭女子大学地域文化センター 2007 *ID 0011598147

『大阪天満宮米穀商御錦蓋講 100年史』米穀商御錦蓋講 1992 *ID 0000426316

『神在し坐すが如く-大阪天満宮御鳳輦講百二十年のあゆみ-』上野誠三郎編 大阪天満宮御鳳輦講 1996 *ID 0000585524

『西天満連合神鉾講のあゆみ』高島幸次、柳野等執筆 西天満連合神鉾講 2010 *ID 0012239081

『太鼓中のあゆみ』高島幸次執筆 松本實編集 大阪天満宮太鼓中 2011 *ID 0012394769